

全建総連綱領

全国建設労働組合総連合(略称全建総連)は、日本の自由にして民主的な建設労働組合が、建設労働者の経済的社会的共通の利益を維持し、向上させるために、自主的に結集した労働組合であって、いかなる権力、政党、団体からも独立し、自由である。

われわれは、全建総連に結集した全国の建設労働者、職人の団結によって、自らの労働条件を維持改善し、社会的地位の向上をはかり、すすんで日本の民主主義とよりよき社会の建設に貢献しようとするものである。

このため、われわれは、当面つぎの目標を達成するために努力する。

- 1 全建設労働者・職人の生活と権利を守り、日本の平和と民主主義の擁護、完全独立を達成するために総力を結集する。
- 2 建設産業の民主化をはかり、もって建設労働者・職人の雇用安定、制度確立のためにたたかう。
- 3 支配階級の低賃金政策に反対し、憲法で保障された文化的生活に値する賃金獲得を目ざして運動をすすめるとともに、完全な社会保障制度の確立を期してたたかう。
- 4 建設産業の近代化と発展に対応して、建設労働者・職人の技能・技術教育の向上普及をはかるとともに、日本の住宅、学校、病院の大量建設に献身する。
- 5 われわれは、その要求貫徹のため、組織を強化、拡大し、速やかに全国二百万建設労働者の結集をはかる。

(1960年11月24日制定)